

トヨタ生活協同組合メグリア三好店

大規模小売店舗立地法指針項目チェックリスト

1 概要

店舗運営計画の見直しに伴い、駐車場の位置、営業時間等を変更する。(法第6条第2項)

2 届出の内容

届出年月日	令和4年8月5日			
店舗	店舗名称	トヨタ生活協同組合メグリア三好店		
	店舗所在地	愛知県みよし市ひばりヶ丘二丁目1番地5 ほか1筆		
設置者	名称	トヨタ生活協同組合		
	代表者	理事長 加藤 昭夫		
	住所	愛知県豊田市豊栄町二丁目111番地		
	その他	なし		
小売業者	名称	トヨタ生活協同組合		
	代表者	理事長 加藤 昭夫		
	住所	愛知県豊田市豊栄町二丁目111番地		
	その他	ほか4名		
		変更前	変更後	
店舗面積		4,574 m ²	変更前に同じ(4,895m ²) ※	
施設の配置	駐車場	位置	別紙図面のとおり	別紙図面のとおり
		台数	274 台 (指針台数: 233 台)	変更前に同じ(指針台数: 233 台)
	駐輪場	位置	別紙図面のとおり	別紙図面のとおり
		台数	77 台	変更前に同じ
	荷捌施設	位置	別紙図面のとおり	別紙図面のとおり
		面積	403 m ²	388 m ²
	廃棄物 保管施設	位置	別紙図面のとおり	別紙図面のとおり
		容量	24 m ³	38 m ³
施設の運営	営業時間	開店	午前10時	午前8時
		閉店	午後9時(一部午後11時)	午後9時45分
	駐車場利用時間帯		午前9時30分から午後9時30分 まで(一部午前9時30分から午 後11時30分まで)	午前7時30分から午後10時まで
	駐車場出入口	数	4箇所	2箇所
		位置	別紙図面のとおり	別紙図面のとおり
	荷捌時間帯		午前6時から午後6時まで	午前6時から午後10時まで
変更する理由	店舗運営計画の見直しのため			
変更する日	令和5年4月6日			

※増床面積が1,000m²及び変更前の面積の1割に相当する面積のいずれも超えないため、届出事項ではない

3 参考事項

	変更前	変更後
敷地面積	21,945 m ²	変更前に同じ
建築面積	5,361 m ²	変更前に同じ
延床面積	6,801 m ²	7,220 m ²
業態	住・生活関連品専門店	
用途地域	第2種住居地域	—
備考	平成18年3月14日 法附則第5条第1項届出(開店時刻及び閉店時刻、 駐車場利用可能時間帯) 令和2年1月9日 法第6条第1項届出(建物設置者の代表者、大規模小売店舗の所在 地、小売業者の入退店)	

トヨタ生活協同組合メグリア三好店

4 基本的配慮事項

配慮事項	記述事項
(1) まちづくり計画の検討	都市計画及び中心市街地活性化基本計画等について情報収集し、検討する
(2) 深夜営業の対応	深夜営業は行わない
(3) 住民説明会の開催	地域住民等の理解が十分得られるよう周知
(4) テナントの履行確保	賃貸借契約の条項に付け加える
(5) 責任者の任命	店長を責任者として任命
(6) 予測乖離時の措置	再調査・再対策を検討の上、必要措置を実施
(7) 通年の臨時措置	繁忙時は交通整理員を配置
(8) 開店時の臨時措置	既存店のため、必要なし

5 施設の配置及び運営方法に関する事項

1 駐車需要の充足・周辺地域の利便確保のための配慮

(1) 交通に係る事項

ア 駐車場の必要台数の確保

(ア) 小売店舗の必要駐車台数

a 指針による算出

行政人口	店舗面積S	日來客数 原単位A (人/千㎡)	ピーク率B	駅からの距離 (商業系地域の 場合)	自動車分担率 C	平均乗車 人員D	ピーク1hの 来台車数F $S/1000 \times A \times B \times C/D$	平均駐車 時間係数G	必要駐車台数 F×G
61,333人	4,574 ㎡	963	14.40%	1,000 m	80%	2.00 人	254 台	0.919	233 台

総駐車台数	−	従業員等駐車台数	−	業務用駐車台数	−	搬出入用駐車台数	−	併設施設駐車台数	=	来客用駐車台数	評価
290 台		16 台		0 台		0 台		16 台		258 台	○

(イ) 小売店舗に併設施設を含めた必要駐車台数

a 指針の参考式による算出

小売店舗と駐車場を共有する併設施設

併設施設 の面積	併設施設の割合 (併設施設面積/店舗面積)	必要駐車台数
620 ㎡	13.6	233 台

小売店舗と利用者層が異なる併設施設

併設施設 の面積	併設施設の割合 (併設施設面積/店舗面積)	必要駐車台数
—	—	16 台

総駐車台数	−	従業員等駐車台数	−	業務用駐車台数	−	搬出入用駐車台数	−	併設施設駐車台数	=	来客用駐車台数	評価
290 台		16 台		0 台		0 台		274 台		○	

イ 駐車場の位置及び構造等

1平面自走オペレーター:無	2平面自走オペレーター:有	3機械式駐車場	共用駐車場数	ピーク1hの来台車数
2箇所	0箇所	0箇所	0箇所	254 台

ウ 駐車場形式・出入口数・位置・駐車待スペース・分散確保・交通整理

種別	1	収容台数	274 台	歩行者動線	分離	騒音配慮	なし	排ガス配慮	アイドリングストップ			
										出入口数	道路種別	道路幅員
① 駐 車 場	東	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	西	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	南	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	北	2箇所	市町村道	16m	あり	11.4m	0m	254	双方向	右左折混合	あり	○
交通整理員等の配置 年間を通して混雑する時期のみ配備												

評価	駐車場法の基準	駐車場出入口の数・位置	駐車待スペース	駐車場の分散確保	出入口における交通整理
	○	○	○	○	○

エ 周辺交通状況の把握

交通量調査	来客車両等の方向別予測	店舗周辺状況調査	交通流動の予測
未実施	未実施	未実施	未実施

トヨタ生活協同組合メグリア三好店

オ 駐輪場等の確保等

駐輪場の位置及び箇所数	A棟建物西側に2箇所、A棟建物北東側に1箇所、C棟建物北側に1箇所
駐輪場の収容台数	77台
標準収容台数	131台
収容台数根拠	現状の利用実績より、現在の設置台数にて充足しています。

位置評価	台数評価
○	○

カ 自動二輪車の駐車場の確保

自動二輪車駐車場の確保	なし	収容台数	-
位置及び箇所	駐輪場と共用しています。		

位置評価	台数評価
-	-

キ 荷捌施設の整備等

(ア) 荷捌施設の整備

荷さばき施設①

停車位置	専用出入口・通路	面積	営業時間外の搬入	平均処理時間	同時処理可能台数	ピーク時車両数	処理能力
敷地内	混在	228㎡	あり	10分	4台	2台	○

荷さばき施設②

停車位置	専用出入口・通路	面積	営業時間外の搬入	平均処理時間	同時処理可能台数	ピーク時車両数	処理能力
敷地内	混在	106㎡	あり	10分	1台	1台	○

荷さばき施設③

停車位置	専用出入口・通路	面積	営業時間外の搬入	平均処理時間	同時処理可能台数	ピーク時車両数	処理能力
敷地内	混在	54㎡	あり	10分	1台	1台	○

(イ) 計画的な搬入

荷さばき施設①

搬入ピーク	台数	道路混雑ピーク	道路余裕時間帯	施設運営計画の有無	荷捌待スペース	評価
8時台～9時台、13時台～14時台	2台	-	-	なし	なし	○

荷さばき施設②

搬入ピーク	台数	道路混雑ピーク	道路余裕時間帯	施設運営計画の有無	荷捌待スペース	評価
6時台～8時台、12時台	1台	-	-	なし	なし	○

荷さばき施設③

搬入ピーク	台数	道路混雑ピーク	道路余裕時間帯	施設運営計画の有無	荷捌待スペース	評価
8時台、13時台、18時台、21時台	1台	-	-	なし	なし	○

ク 経路の設定等

(ア) 車両関係

a 来客車関係

案内表示の設置	交通整理員の配置	情報提供	生活道路の回避	通学路の回避	療養施設等の回避	右折経路
なし	配置	店内掲示	回避	回避	回避	あり

b 搬出入車両関係

通学路との交錯	登下校時間の運行	登下校時間の交通整理員
なし	あり	非配備

※非配備の場合等の対応

ドライバーへの周知徹底を行います。

c バス・タクシー等交通機関関係

駐車場の確保
バス・タクシー等の停留所なし

d 地方公共団体・公共交通事業者の事業関係

パークアンドライド事業等への協力
事業なし

評価
○

トヨタ生活協同組合メグリア三好店

(イ) 歩行者通行関係

通り抜け可能通路の保持	通行妨害施設	閉店後の夜間照明の設置
必要なし	なし	配慮あり

評価
○

(ウ) 廃棄物・リサイクル関係

廃棄物減量化計画	リサイクル活動推進計画
実施	実施

評価
○

(エ) 防災・防犯対策への協力

a 防災への協力

避難場所の提供	物資の緊急提供	その他
締結可能	締結可能	—

b 防犯への協力

夜間照明の配置	警備員等の巡回	その他
配慮あり	なし	<ul style="list-style-type: none"> ・従業員により早期に声掛けを実施し、犯罪を未然に防ぐように考えております。 ・店内に防犯カメラを設置しています。 ・駐車場内に照明を設置し、暗闇がないようにしています。

評価
○

2 生活環境悪化防止関係

(1) 騒音発生に係る事項

ア 騒音問題対応策

(ア) 一般的対策

	住居(距離)	高層住居(距離)	騒音発生源	遮音壁(高さ)	緑地帯	その他の対策
東方向	なし	なし	-	-	なし	-
西方向	50 m	50 m	エアコン室外機	-	なし	-
南方向	14 m	なし	荷さばき車両	-	なし	-
北方向	26 m	なし	来客車両	-	なし	-

遮音壁の影響	遮音壁なし
--------	-------

(イ) 営業活動の騒音対策

早朝・深夜荷捌きの有無	なし
荷捌施設建築計画面での配慮	荷さばき施設のスペースを十分に確保し、作業時間の短縮を図っています。
荷捌作業運営面での配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・納入業者に対しアイドリング禁止を徹底しています。 ・作業員への騒音抑制意識の徹底をしています。
放送設備使用面での配慮	屋外放送なし

(ウ) 付帯設備及び付帯施設等における騒音対策

冷却塔、室外機等からの騒音配慮	低騒音型の機器を使用しています。
給排気口等からの騒音配慮	低騒音型の機器を使用しています。
駐車場からの騒音配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・床面、排水蓋による段差をなくしています。 ・路面表示による場内誘導を徹底しています。 ・場内でのアイドリングストップの啓蒙PRを看板により実施しています。
廃棄物収集作業等に伴う騒音配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・十分な保管容量を確保し、廃棄物の施設外への拡散を防止しています。 ・廃棄物収集作業員への騒音抑制意識の向上を推進し、深夜・早朝の作業を回避しています。
経年劣化等の事後対策	低騒音型の機器を使用しています。

(エ) 併設施設における騒音対策

施設面の騒音配慮	騒音が発生する機器は、低騒音型を導入するとともに、できるだけ住居から離れた位置に配置することで騒音の影響が軽減するよう配慮しています。
運営面の騒音配慮	設備機器のメンテナンスを定期的の実施し、異常な騒音が出ないように配慮しています。

トヨタ生活協同組合メグリア三好店

イ 騒音の予測評価

予測対象騒音	定常騒音	空調機室外機	59	冷却塔		給排気口	40	変電施設		浄化槽		ポンプ			
	変動騒音	冷凍機室外機	9	キュービクル	3	受水槽		排風機		ブローア					
		自動車走行	○	後進警報ブザー	○	台車走行	○	BGM		アナウンス					
衝撃騒音	ゴミ収集作業	○	アイドリング												
	リフト昇降音	○	リフト衝撃音	○											
建物の構造(高さ)		A棟:鉄骨造り2階建て(高さ10.4m)、B棟:木造平屋建て(高さ7.6m)、C棟:鉄骨造平屋建て(高さ7.72m)													

(ア)等価騒音レベル予測(昼間)

		北東(A)	南東(B)	南西(C)	北西(D)
用途地域		第2種低層住居専用地域	第1種低層住居専用地域	第2種住居地域	第1種中高層住居専用地域
昼間基準値		55 dB	55 dB	55 dB	55 dB
設置者	昼間等価騒音レベル	44.9 dB	50.1 dB	49.9 dB	37.7 dB
	評価	○	○	○	○
県	昼間等価騒音レベル検証	妥当	妥当	妥当	妥当

※基準値を超えた場合の対応等

基準値は下回っておりますが、苦情があった際は真摯に対応致します。

(イ)等価騒音レベル予測(夜間)

		北東(A')	南(B')	南西(C')	北西(D')
用途地域		第2種低層住居専用地域	第1種低層住居専用地域	第2種住居地域	第1種中高層住居専用地域
夜間基準値		45 dB	45 dB	45 dB	45 dB
設置者	夜間等価騒音レベル	15.6 dB	23.2 dB	38.9 dB	23.7 dB
	評価	○	○	○	○
県	夜間等価騒音レベル検証	妥当	妥当	妥当	妥当

※基準値を超えた場合の対応等

基準値は下回っておりますが、苦情があった際は真摯に対応致します。

(ウ)夜間における騒音ごとの予測

A 商工系地域で周囲50m以内に学校、保育所、病院、患者収容施設を有する診療所、図書館、特別養護老人ホームの有無	無
B 工業地域で住居系地域との境界線を50m以内に有するかどうか	
上記A・Bの具体的内容	—

(1)店舗敷地境界における予測結果

		北(a)	南(b)	南西(c)	西(d)
用途地域		第2種住居地域	第2種住居地域	第2種住居地域	第2種住居地域
基準値を5dB減ずる要因		なし	なし	なし	なし
基準値		40dB	40dB	40dB	40dB
設置者	定常騒音の騒音レベル	39.6dB	20.3dB	38.9dB	26.1dB
	評価	○	○	○	○
県	変動騒音と衝撃騒音の騒音レベルの最大値	—	—	—	—
	評価	—	—	—	—
県	定常騒音の騒音レベル検証	妥当	妥当	妥当	妥当
	変動騒音と衝撃騒音の騒音レベルの最大値検証	—	—	—	—
		北(e)			
用途地域		第2種住居地域			
基準値を5dB減ずる要因		なし			
基準値		40dB			
設置者	定常騒音の騒音レベル	16.3dB			
	評価	○			
県	変動騒音と衝撃騒音の騒音レベルの最大値	—			
	評価	—			
県	定常騒音の騒音レベル検証	妥当			
	変動騒音と衝撃騒音の騒音レベルの最大値検証	—			

※基準値を超えた場合の対応等

基準値は下回っておりますが、苦情があった際は真摯に対応致します。

トヨタ生活協同組合メグリア三好店

(2) 廃棄物関係

ア 廃棄物等の保管について

悪臭問題関係配慮	中間処理を行っていません。
衛生問題関係配慮	ドアを設置して密閉型としています。

(ア) 小売店舗の必要保管容量

a 指針に分類される廃棄物等

A棟

取扱品目	届出容量	保管日数	日排出量	見かけ比重	必要保管容量	見かけ比重の変更	評価
紙廃棄物用	24 m ³	1日	0.775 t	0.10 t/m ³	7.75 m ³	変更なし	○
金属製廃棄物用		1日	0.026 t	0.10 t/m ³	0.26 m ³	変更なし	○
ガラス製廃棄物用		1日	0.022 t	0.10 t/m ³	0.22 m ³	変更なし	○
プラスチック製廃棄物用		1日	0.075 t	0.01 t/m ³	7.50 m ³	変更なし	○
生ごみ用		1日	0.630 t	0.55 t/m ³	1.15 m ³	変更なし	○
その他可燃性廃棄物用		1日	0.201 t	0.38 t/m ³	0.53 m ³	変更なし	○
合計	24 m ³	-	-	-	17.41 m ³	-	○

C棟

取扱品目	届出容量	保管日数	日排出量	見かけ比重	必要保管容量	見かけ比重の変更	評価
紙廃棄物用	14 m ³	1日	0.199 t	0.10 t/m ³	1.99 m ³	変更なし	○
金属製廃棄物用		1日	0.007 t	0.10 t/m ³	0.07 m ³	変更なし	○
ガラス製廃棄物用		1日	0.006 t	0.10 t/m ³	0.06 m ³	変更なし	○
プラスチック製廃棄物用		1日	0.019 t	0.01 t/m ³	1.90 m ³	変更なし	○
生ごみ用		1日	0.162 t	0.55 t/m ³	0.29 m ³	変更なし	○
その他可燃性廃棄物用		1日	0.052 t	0.38 t/m ³	0.14 m ³	変更なし	○
合計	14 m ³	-	-	-	4.45 m ³	-	○

保管日数の設定根拠	既存の実績に基づく
見かけ比重変更の理由	変更なし
指針と異なる算定式の使用	変更なし

b その他の廃棄物等 なし

(イ) 小売店舗以外の施設の必要保管容量

a 飲食店の廃棄物等

別途確保

b 小売店舗以外の施設の廃棄物等(廃棄物等の保管場所が小売店舗と同一の場合)

別途確保

(ウ) 小売店舗から排出される廃棄物の増減要因

廃棄物排出量を減少させる要因		廃棄物排出量を増加させる要因	
レジ袋削減の実施	あり	空缶・空き瓶の回収箱設置	あり
ダンボール不使用納品の実施	あり	食品トレーの回収箱設置	あり
生ゴミ堆肥化施設の使用	あり	ペットボトルの回収箱設置	あり
廃棄物等圧縮機の使用	なし	食品加工場の設置	あり
脱水装置の使用	なし	物販店以外の施設との保管施設の共有	あり
その他	なし	その他	なし

※その他廃棄物減量化及びリサイクル等に係る取組み

<p>(廃棄物の減量化)</p> <p>トヨタ生協では全組合で廃棄物の減量化に取り組んでいます。</p> <p>①生ごみ消滅処理:トヨタ生協独自で微生物による生ごみ消滅処理(自然浄化法)に取り組んでいます。</p> <p>②エコステーション:廃棄物の絶対量の削減と、発生廃棄物の再生化をするために、独自の施設を設置し、トレー、牛乳パック、段ボールなどの回収をしています。</p> <p>(リサイクル化)</p> <p>トヨタ生協では独自でエコステーションの設置と、行政とタイアップし、リサイクルステーションの設置を進めています。</p> <p>①エコステーション:上記と同じ</p> <p>②リサイクルステーション:みよし市とタイアップし、設置を行っています。ペットボトル、空き瓶、空缶などの再利用品の回収を行っています。</p>

トヨタ生活協同組合メグリア三好店

(エ) 廃棄物保管施設の位置・構造

位置・構造	種類・処理方法ごとの分別の実施	分別廃棄を実施
	搬出作業の利便性の確保	特になし
	搬出作業の騒音・悪臭対策の確保	夜間及び早朝作業は控える
	生ゴミ保管施設の温度管理等の実施	あり
	生ゴミ保管施設の密閉性の確保	あり

イ 廃棄物等の運搬や処理について

十分な搬送頻度の確保	特になし
繁忙期の特別な措置	搬出回数を増便
運搬(予定)業者(免許番号)	ホームメックス株式会社(第1291号)
運搬業者・処理業者に対する情報提供	特になし
敷地内処理の配慮	すべて敷地外処理
廃棄物運搬・処理実施要綱等の制定	なし

ウ その他廃棄物関連対応策について

食品加工場等からの悪臭防止対策	・冷凍・冷蔵設備を完備 ・グリストラップを設置しています。
併設施設からの悪臭防止対策	生ごみが発生する場合には密閉保管し、悪臭が発生しないように努めています。

評価
○

(3) 街づくり等への配慮

街並みづくり等への配慮	外観・色彩等	特になし
	環境美化活動	○ 従業員により定期的に店舗敷地内の清掃を行っています。
市町村等の公的計画への協力	市町村からの要請に対して協力します。	
照明等の配慮	下向きに設置し、夜間周辺に影響が生じない設計にしています。	
敷地内の緑地計画	敷地の10.4%程度を確保しています。	

評価
○

市町村の意見概要	対応
意見なし	-

住民等の意見の概要	対応
<p>1 駐車需要の充足等交通に係る事項</p> <p>ウ 駐車場の出入口の問題</p> <p>当商業施設 駐車場 入口 出入口 a b 2か所あるが接面公道との出入りに際し、出入口の悪さのため公道渋滞の一因となっています。</p> <p>地域からも長年にわたり改善の要望が出されていますが、大きな改善が見られませんでした。</p> <p>今般、C棟東側駐車場を取り壊し、場内駐車場数を増やすことにより出入口a bを通過する車が多くなるにかかわらず、駐車場入り口の幅は既往の10メートルのままとなっています。</p> <p>以上のことにより、メグリア三好店に出入りする車の増加により、公道の渋滞交通事故の発生が懸念されます。</p>	<p>駐車場入り口の幅を今回の工事に変更する予定はございませんが、今回の変更工事と並行して計画されている同敷地内のリサイクルステーションリニューアルに合わせ、みよし市が接面公道の拡幅工事を進められております。安全で円滑な入出庫となるようにトヨタ生活協同組合としてもみよし市の要望を受け入れるなど協力を行っています。</p>

県の意見案
意見なし

県の意見に至る考え方
指針配慮事項及び住民意見に対する設置者の対応は概ね妥当であると考えられる。